

人を敬い 人と和し 自らを創る

願う生徒像

観点

手だて

基盤となる支援

人を敬い
人から信頼される生徒

- 「一人となる」
周囲への配慮・感謝
役割と責任の自覚
- ・明るく気持ちのよい挨拶
 - ・時間いっぱい清掃
 - ・生徒会活動・係活動など自分の役割を自覚し、最後までやり遂げようとする姿

- ・校舎をきれいに、大切に受け継ぐ
- ・生徒会活動や行事での異年齢とのかかわり場面や活動を推進

全校研究テーマ
「問い」をつなげ、自信をもって表現する生徒

特別支援・適応支援
チーム支援を位置づけ
個に合った支援を構築

人を認め思いやり
人と協力して活動する生徒

- 「絆」をつなぐ集団づくり
困ったときはSOSを発信
- ・聞こえる声での発言、発信
 - ・人を思いやり、協力して活動する姿
 - ・心理的安全性のある「多様な居場所」の選択
 - ・対話を通じた協働、未知についての探究

- ・挨拶が自然に交わされる雰囲気づくり
- ・学び方・学び場の違いを受け入れる土壌づくり
- ・QU、アセス、NINO分析

全校研究テーマ具現のために

(1) 授業改善や学力向上を目指した重点的な取組

生徒が何を学ぶ授業なのかを理解した上で、個々への問いかけ、グループ内での話し合い活動等についてICTを利活用しながら、授業改善を図ることで生徒の主体的・対話的で深い学びに結びつける。

(2) 評価に関する検証

各種学力検査の活用のほか、「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」を授業内で評価する方法について実践を通じて明らかにしていく。

(3) 教職員の指導力向上、「チーム学校」のための研修・重点研究

教科の枠を越えた重点研究を実施。R8は「学級づくり」「歌声づくり」「ICT活用」

自ら工夫し 納得するまで追究し課題を解決していく生徒

- 授業・学習・各領域への粘り強く前向きな取組
- ・ICTを活用した、主体的・対話的で深い学びの実践
 - ・自分に向き合い、生き方を考える体験・学びの場
 - ・地域課題を分析し、自分事にして発信していく総合的な学習の時間

- ・全職員で取組む授業改善
- ・ICT活用、キャリア教育の促進
- ・個別最適な学び、協働的な学び
- ・「六中の学習スタイル」～「準備」「追究」「仲間」「挑戦」の徹底

家庭・地域との連携

地域公開講座（公開参観）
HP・学校だよりによる発信
学習支援ボランティア

生徒会活動

生徒の活躍を後押し
達成感
責任感
満足感

個々の生徒への支援

サポートルーム（校内フリースクール）
チーム支援
外部機関との連携
個別最適な学びを生み出す居場所